

# 林檎

岩手Mac友の会

Vol.13, No.2 2001.8.25

Iwate Macintosh Funclub



## 最速Mac登場!

この夏、Apple Computer から、新型のG4が登場しました。外観は殆ど変わったところがありませんが、クロックやシステムバスなどが高速化された他、800MHz デュアルプロセッサ搭載モデルが登場して、一段と高速処理環境が整いました。

大容量HDDと相まってムービー編集等マルチメディアコンテンツ製作に威力を発揮することでしょう。

MacOS X も改良版が近日公開されるというアナウンスがあります。対応するアプリケーションも増加し、新しいOSへ移行することを躊躇っていたユーザも、そろそろ考え時かもしれませんね。

## 林檎が色付く!

この会報「林檎」も通算54号になりましたが、発刊当時と比較すると印字品質、画像品質やソフトの機能等格段に進歩しましたが、プリントアウトしたものをコピーして製本(折り込み)という形式はずっとそのまま皆さんのお手元にお届けしていました。カラーで配付したいという声も有りましたが、コストの関係などから、実現されずに今日に至っておりました。

そういったこともあって、一昨年6月発行の通算46号から、カラーで編集したPDF版を、ホームページからのダウンロードという方法で配付する方式も、平行して実施していましたが、利用者の評判も上々でした。

この方式では、コピー、製本&郵送のための手間とコストが不要となることと、電子的な保存もできるという利点があります。

また、MEGUMIもインターネットに接続されたこともあって、会員の殆どがインターネットを利用する状況になりました。

これらのことを踏まえて、5月の総会で、紙媒体での会報の郵送を止め、今後はPDF版のみの提供(ホームページから各自ダウンロード)する方式にすることが提案され、全員一致で決定しました。

## 次号はInternetで

前述のとおり、「紙」で郵送される林檎はこの号が最後になります。次号からは当会のホームページ <http://www.imfc.org/> から各自で入手して下さい。なお、発刊のお知らせ等はMEGUMIで御案内致します。

総会で、引き続き会長を指名されました。今年度も宜しくお願い致します。野村



## Inside

総会報告	2
ラウンドテーブル	
コンファレンス	3
私のマックライフ	4
初代編集長から	6
フレッツADSL導入記	8
林檎ギャラリー	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12





# 第14回、岩手Mac友の会総会

の報告

総会開催場所：岩手県自治会館、3階、第一会議室  
(盛岡市山王町4番1号)  
＜駐車場＞有り(無料)

日時：2001年5月26日(土)午後1時30分受付開始

プログラム：13:30 開場(受付開始)

14:00 総会開始

前年度活動報告、

今年度役員改選

今年度活動計画など

15:00 iBook 最新CF(米国版)上映ほか

15:30 会員近況報告(全参加者)

17:00 解散

(総会終了後、会費制の懇親会@茶欧)

## ■2000年度決算報告

インターネット版MEGUMI開設に伴う従来版との平行運用のため、電話代が複数発生しているが、従来版はそろそろ運用を停止するので、来年度には減額となる。

コピー代とあるのは林檎の用紙代のみで、木津屋の杉村さんの計らいで、破格の金額である。

ドメイン管理料は「imfc.org」の維持のため、今回2年分を送金した。

## ■2001年度予算案

2000年度決算では、昨年繰り越しを取り崩しているが、旧MEGUMIの運用停止による電話代等の減額、会報のオンライン化による郵送料の減額が想定されることから、年会費を2,000円に据え置く。

以上



By: 野村 行憲

第13回、岩手Mac友の会総会が上記の日程で開催され、以下の事項が決定しました。

■MEGUMIのインターネット接続  
(公開に向けて準備中)

## ■年会費

2千円

## ■役員改選

会長：野村 行憲(再任)

副会長：照井 芳夫(再任)

会計：笹川 順子(再任)

MEGUMI管理者：

土村 中(再任)

高橋 晃(再任)

編集長：以下の3人で持ち回り

佐藤 護人(再任)

藤原 友行(再任)

土村 中(新任)

## ■例会とナイトサロンの日程

例会：毎月第4土曜日14時～  
於マリオス7F

交流サロン

ナイトサロン：

毎月第2土曜日19時～

於茶欧(八幡宮境内)

## ■会報「林檎」の発行

紙に印刷して郵送することを止め、PDF版を各自ダウンロードする。

## 2000年度 IMF 会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越	149,436	電気	20,000
利子	100	電話	21,000
会費51人分	105,000	コピー	10,260
		郵送料	20,040
		封筒ラベル消耗品	7,733
		ユーザー会会費	0
		ドメイン名管理料	7,874
		振込手数料	630
		自治会館使用料	25,740
		電話代	48,720
収入計	254,536	支出計	161,997
		今年度通帳残高	91,392
		手持ち現金	1,147
		繰越合計	92,536
合計	254,536	合計	254,536



# Round-table Conferences

## 懇談会当日

7月24日 PM7:00

ホテル ニューカーリーナ 喫茶室

## 出席者

岩手人 野村会長、彼の息子 翼君、木村氏、盛岡大学のJim氏と小生の5名

米国人 Mrs.Sumi Guilday. (ガイルデュイ 発音不明)、大学生2名の計3名

## 御話の内容

会長が4人を紹介した。しかし、各自勝手に喋っていましたので詳細には報告できませんが、皆さんとても生き生きしていましたよ。

翼君は汗を拭き拭きPBG4を操作していました。どんな話なのか聞こえませんでした。もちろん私には、いつもマックの高度な話題にはついぞ理解できないのですから、きっとその時の話題もチンプンカンプンだったでしょう。

Mrs.Sumiさんが翼君を指して、かれは、お金持ちね？との発言で米国人大学生2名が頷いていたのが印象的でした。金銭感覚がやっぱり違っているのだと想いました。

## 定年後の生活について

Mrs.Sumiさんが云うには定年から自由になって海外旅行を楽しんでいる。私がMrs.Sumiさんに御主人となぜ一緒に旅行しないのかと質問したところ、かれは日本食が食べられなく、旅行中にかれの面倒をみるのが厭なので、かれと同行しないそうです。

彼女の祖先は和歌山県出身の日系人で彼女は二世移民の米国人、風貌は言葉は喋らなければ日本人。筋肉隆々と云わないまでも、そこそこで、ひ弱な私より頑丈そうです。8回も訪日していますので、国内のいろいろな所を見物したそうで、昨夜は平泉に

宿泊したそうです。野営水飯だつて平気などと言ってます。円安ドル高を十分利用してますね。

出身地の話から、わたしが満州生まれときいてびっくりしてました。そして彼女は日系人強制収容所に隔離されたことを教えてくれました。当時12.13才だったかな？しかし現在の彼女は完全なアメリカンです。平仮名は読めるが漢字は不可、自宅ではNHK BS TVで日本語を独習しているそうです。

日本の家庭に宿泊したことがあるのか日本では米国人＝白人がホームステイをしに来ると予想する人が多く彼女はオリエンタルなのでびっくりされるそうです。日本国旅行は顔つきのせいで便利だそうです。

72才の婦人が日本国内を旅行して見知らぬマックユーザーと合いたいなんて私には驚きです！このようなセンスは中華一番、アメリカ一番の精神構造なのですかね？日本でいえば一期一会を非常に上手に振る舞っています。好奇心が旺盛で、できるだけ安価な投資でより多く楽しめるか！いかに人生をエンジョイするか！などを重要視しています。

今年の休暇は彼女は日本旅行、夫はヨーロッパ旅行なんて全く贅沢な話です。彼女は3,4枚の写真を持ち歩いていました。その写真には一族郎党の集合写真やその時のスナップ写真で、これは夫、これは息子、娘、従姉妹の亭主、兄弟の友達などと説明しています。

あ～、やつぱり中華一番、アメリカ一番の精神かな？初対面の人に一族郎党の顔を紹介するなんてのは日本人の感性からいえば普通と思えないのですがこれって私だけのセンスでしょうか？？  
一般的な米人はパーティーなどで知りあうと、このたぐいの写真を見せあつて話題を広げあつていきます。



時には話が進み写真の中の人物に電話をしたり彼宛に紹介状を書くことがあります。こちらに何か魂胆が有るときは便利です大概社交感覚が少ない日本人には小さな親切、大きな迷惑となることが多いようです。裏返すとあなたの友達は私の友達だから親しくなしましょうよ、ということになります。でも私の友達は日本人ですから見知らぬ外国人を紹介されるとびっくりされます。ときには日本人から恨まれることもあります。いずれにしてもかれらは一枚の写真からネットワークを作るのが日本人以上に好きのように思えます。

それと、ついでといつては何ですが、米国系の夫婦は婦人が喋っていて、亭主が食材を運んでいる。亭主達は非常に静かで米国の婦人はうるさい、よく喋る、これだから女は外国語が上手になるのだろう。一方、亭主はもくもく食らう成人病体格になる。太らせて亭主を早死にさせる魂胆か？

現在の日本でも国内の主要な観光地、温泉地にはバックツァーの老人が溢れています。特に婦人達が元気で亭主は添え物かな？

さあ、あなたはどうしますか？？わたしには定年はないけど、もしも定年になった時は円高の世になつて欲しい。

てなこと御粗末でした。

神 達宏 7/30記  
(Page editor: Ataru)



# 私の Mac Life

高橋 晃

ほんとに久しぶりに「林檎」に文章を書くことになりました。私の最近の私的な「Macライフ」はネットワークツールとして使っているだけなので、Macintoshと出会ってから現在までのミニ年表を作ってみました。購入時期やイベントがずれているところがあるかもしれませんが、自分のマックライフと比較してみるのも面白いかもしれません。

## 紙と鉛筆からマウスへ

私がMac IIを手にした当時は、Macintoshは建築設計の道具として大きな可能性を秘めたComputerだと言う漠とした印象を受けました。不思議なことに15年近くたった

今でもこのMacintoshに対するイメージはあまり変わっていません。良く言えばMacintoshが柔軟なツール、発展途上のツールとも言えますし、逆を言えば不完全で未完成なイメージがあるからなのかもしれません。

建築設計の道具として本格的に使い始めてアトリエから製図板が姿を消すには、数年を必要としました。CAD分野でしっかりしたソフトウェアがなかなか育たなかったり、プロッタードライバーなどの周辺機器の対応がなかなか進まなかったこともあります。建築設計のほぼ100%を

Macintoshでこなすようになったのは5年ほど前からです。

## デジタルデザイン

私がMacintoshに抱く「夢」のな



84	85	86	87	88	89	90	91	92
NEC PC9801							○ 引退	
<p>そう言えば、何とかというリレーショナルデータベースを使って建築の積算システムを作ったっけ。システムはほぼ完成していたけど前の職場が行革で骨抜きになってもう目の目を見ることはないでしょう。けっこう良い出来だったんだけど、Macintoshになってその経験はほとんど生かされないなあ。</p>							<p>MacII 2M/20M</p> <p>高かった！給料の10ヶ月分だったなあ。もう2度とこんな冒険をすることもないかな。妻には感謝々々。</p>	
<p>番外編 ~ Palm505のこと</p> <p>野村会長のPalmに触発されてPalmIIIを購入した口です。もっぱらスケジュールの管理とToDoに使っています。住所録は、建材メーカーや代理店など400人ほどをNowContactで管理していたのですんなりと移行することが出来ました。外出先で電話番号が必要になったとき会社に電話して住所録を見てもらったりしていましたが、ほとんどPalmで用が足りるようになりました。</p> <p>2年ほど使ったPalmIIIは、どこでも手に入る単4で動くしメモリも4Mで十分だったのですが、ポケットに入れて移動したりすると振動でデジタイザが反応しなくなり開腹修理が必要になったりで、ついに買い換えを決意しました。</p> <p>サイズやバッテリー・外部メモリーのことなどいろいろ悩んだ末、Palm505に落ち着きました。やっぱりワイシャツの胸ポケットに収まるサイズと重量が最大のポイントになりました。発売されてから2ヶ月を経過するのに、通信モジュールやキーボード関連の製品がなかなか出てこないのも一抹の不安を感じています。</p>							<p>SE/30</p> <p>職場で最初のMacintoshはSE/30でした。えっ、なぜMacIIにしなかったのかって？まずDTPで売り込んで、... SE/30にグラフィックカードを入れてフルページディスプレイと言う構成でした。これでMiniCAD+を動かしていたんですね。プリンタは林檎創刊号で活躍したLaserWriterSCでしたが、CADの出力となるととても力が立ちませんでした。(A4を4枚貼り合わせてA2サイズとするテクニックは受け入れてもらえませんでした)</p> <p>照井さんのところでは往年の名機SE/30が復活する兆しがあるとか。ガンパッテください。</p>	
IMFに参加					転職		資格取得	



かに、ペーパーレスのCAD製図とリアルな建築イメージ（CGとかパースとか）の創出がありました。CAD化の方は、データ消失のトラブルやチーム作業する際の小さな問題やスタッフのパソコン技術のスキルアップなど抱えているものの、ほぼ目標が達成できたと思っています。Macintoshで建築設計全ての作業ができるまでになりましたが、やっぱ



り最後は「紙」に出力になってしまいます。デジタルデータが直接モノづくりの現場に流れるような印刷業界や工業デザインのような仕組みさえ出来ればいいですね。

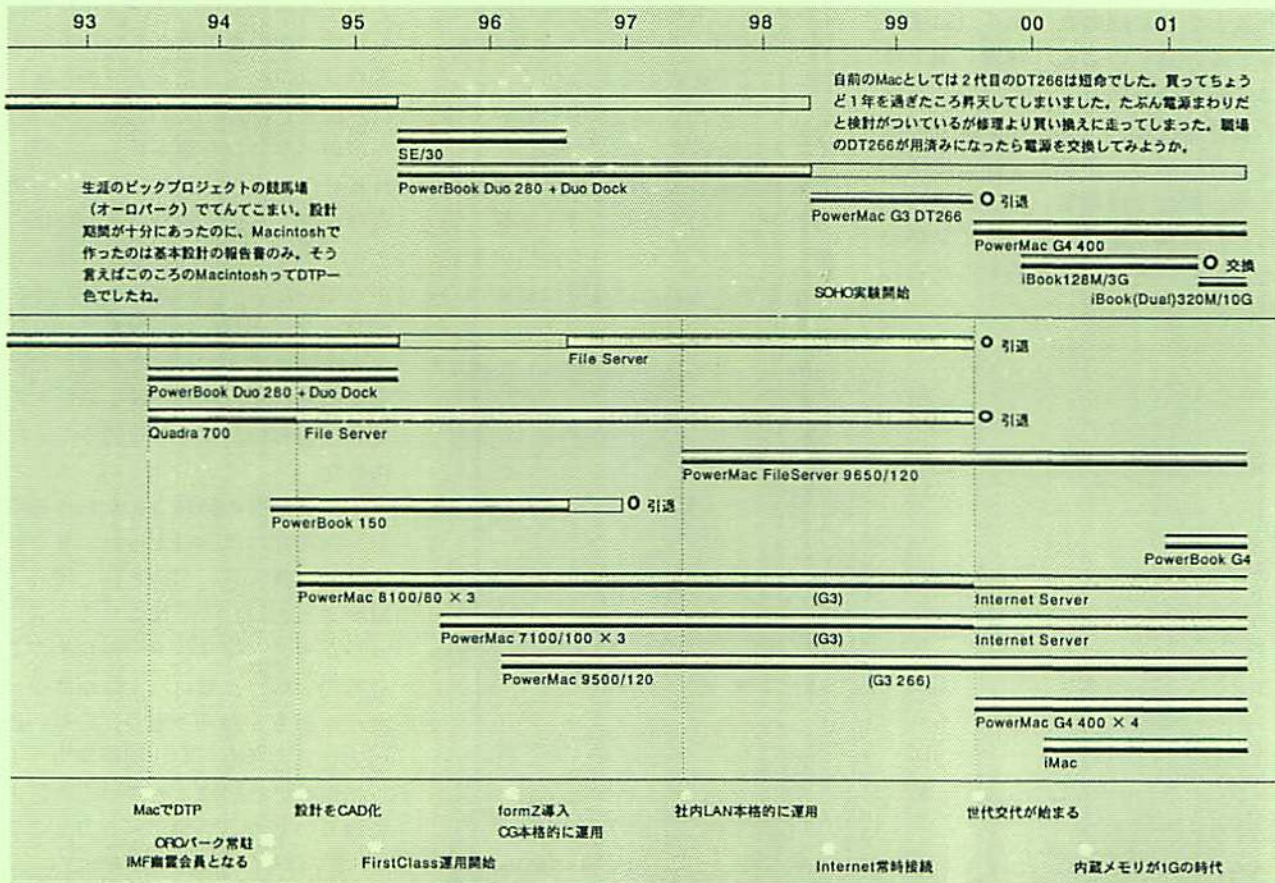
### 15年でわかったこと

ComputerやSoftwareが進化しても建築は人間の「手」で造るものだなあと言う思いがあらためてわき上がってきます。人間の頭で想像した建築が「紙」という媒体で作り手に伝わりそれぞれの立場の人間が建物を作り上げていく「仕組み」が厳然としてあるうちは、道具であるComputerやSoftwareがどんなに進化しても、人間の頭脳や手以上のものになりえないあということ。CG技術を磨いて設計者の頭の中にある建築を表現しようと



すると、材料の素材感というか質感を表現したくなる。太陽の光が落とす軒の出の深い住宅の影や、材料の立体感を表現していくことの難しさがわかってきました。CGによる建築表現をリアルなもの（すでにそこに存在しているかのようなもの）を求めることからヴァーチャルなもの（仮想物）として扱うことに変化してきています。

(文・編集 高橋)





# 林檎

## 初代編集長から

岩手Mac友の会

by 荒木健次

Vol. 1, No. 1 1989. 2. 8

Iwate Macintosh Fun Club

### 今も生き続ける「林檎」体験

1989年2月2日午前1時、盛岡市内のあるオフィスの一画で、ジャズ「One O'clock Jump!」が鳴り響き、数人の男たちはワインで乾杯した。前日の2月1日の夜から始まった編集・制作作業は深夜に及び、DTPソフトの「Ready Set Go」(英語版)を駆使しながら、写真とイラストをちりばめたIMF(岩手Mac友の会)の会報「林檎」第1号は午前零時を回って、ようやく完成にこぎ着けた。14ページ建ての紙面を見ながら、予想を上回る出来栄えに、男たちは興奮し、しばらくすると、カルフォルニア・ワインが心地よい酔いと深い満足感をもたらした。

私は1986年4月、通信社の記者として盛岡に赴任し、3年間、この街で人生のひとつときを過ごした。そこでパーソナル・コンピュータと出会い、岩手の人々から有形無形の贈り物をいただいた。その象徴的なコマがIMF会報完成の夜の情景だった。

87年の暮れだったろうか、私は富士通のワープロ「OASYS」を購入した。おかげさに言うと世界は一変した。それまでの手書き原稿と別れを告げ、キーボードをたたき、画面に文字を表示させながら、デジタルデータとしての原稿を書いてゆくことに快感すら感じ始めた。

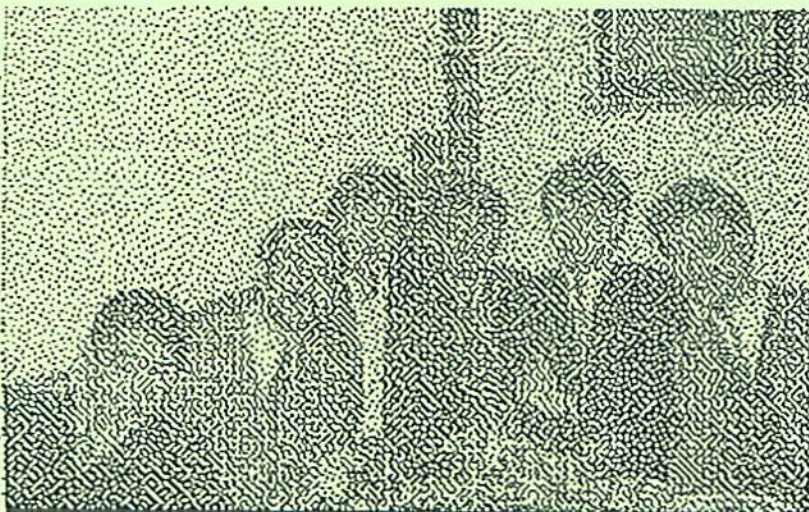
取材を通じて盛岡市役所の電算担当の方と親しくなり、88年夏、勃興しつつあったパソコン通信の世界に足を踏み入れた。当時は盛岡市の

パソコン通信実験システムが稼働したばかりで、「荒木さん、やらないかい。ワープロでも簡単にできるよ」と声をかけてもらった。私も二つ返事で入会させてもらうことにし、手取り足取りでネットワークの世界に入り込んでいった。

このパソコン通信の掲示板(BBS)には誰でも気軽に立ち寄れる喫茶室的なコーナーがあり、そこを根城に毎日というか、1日2、3回はアクセスするという日々が続いた。そして、市役所の友だちからそろそろパソコンをやったらどうかと誘われ、私もその気になった。

どのパソコンを選ぶか。当時はNECの98が主流だったが、盛岡のパソコン通信実験システムにはやたらとアクセス回数が多く、盛り上がっていたコーナーがあった。それがマックユーザーたちが集う「MACINTALK」だった。私は少々悩んだが、マックをいろいろと見せてもらい、マックを買うことに決めた。

IMF会長の野村さんたちに相談し、選んだのはSEだった。88年12月に購入し、当時としてはRAM=4M、HD40Mの自慢のスペックだった。プリンターも含めて70万円という出費はなかなか痛かったが、皆さんから手取り足取り、使い方を教えてもらい、短期間でマシンに慣れ、というよりマックの魅力に取りつかれ、一気にパソコンのス



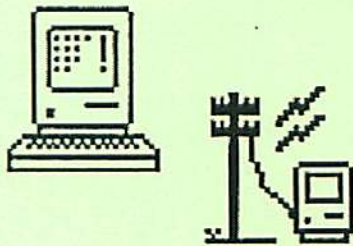
創刊号に載った集合写真・まだグレースケールが使えなかった。



キルを身に付けていった。

IMFの会合にも参加し、年末には盛岡市内にできたばかりのベトナム料理店で開いた忘年会の幹事役（幹事の手伝いだったかもしれない？）もやった。会報を作ることになり、皆さんにささやかながら恩返しめしようと、慣れない編集の仕事を買って出た。編集会議をやって紙面の企画が決まり、私が直接、皆さんに原稿を依頼した。

記者という比較的自由な仕事柄、「取材」と称して執筆をお願いした方の職場に伺ったりしながら、どんなふうに使っているのかを尋ね歩いた。とても楽しく、また、実際、貴重な取材にもなった。こうして密度の高い、マックとマックをめぐる友だちとの新たな出会いの日々を積み重ねて出来たのが「林檎」の創刊号だった。



私は会報が出来てほぼ2か月後の4月に東京に戻るようになった。考えてみればIMFの皆さんとお付き合いしたのは、半年、実際にマックを購入してから盛岡にいたのはわずか4か月に過ぎなかった。

しかし、この期間は私の人生にとって決定的に重要な役割を果たしている。当時、身に付けたマックのスキルはその後も私の体に深く入り込



前列左から2番目が荒木編集長・右端が野村会長

み、様々な働きをしてくれた。特にDTPの使い方は、「林檎」の制作に立ちあったことが大きな経験となり、東京に戻ってからの私のボランティア活動や仕事で縦横無尽の力を発揮した。

ここでは紙面の関係上、紹介しきれないのだが、単にソフトの使い方だけでなく、具体的な紙面を作ったということがどれほど私を助け、そして未知の世界に連れていってくれたことだろう。

また、パソコン通信を通じてコンピュータ・ネットワークのもつ可能性を知らせてくれたのも盛岡だった。

わずかな間だったが、あれほど充実した時間は私にとってかけがえないものだった。そして、何よりもマックという人類が手にした初めての人間的なコンピュータに盛岡で出会え、IMFの皆さんとともに、一緒に過ごせたことは何ものこも変えがたい経験だった。

そこにはパソコンの普及草創期の者だけが知ることが出来る悦楽があった。コンピュータは世界を変えていくんだな、それを単なる観念でなく、具体的に体験すること、昔なが

らの地縁・血縁とは違う次元で、コンピュータとそのネットワークで人間関係を新たに創出していくこと、ちょうどよい地域的狭さと広さを基盤と一緒にプロジェクトを実行していくこと、しかもそれをフロンティアとして実践できる喜び。

20世紀後半の最大の発明といえるコンピュータを岩手という地で皆さんに教えてもらいながら体験できたことは何ものにも変えがたい素晴らしいことだったんだなと今さらながら強く強く思う。いまだにマックを使い続ける私の中で10年以上も前の盛岡の日々は私の体の一部として今も輝きながら息づいている。

追伸=いつかまた盛岡に行く機会があると思います。皆さんとまたお会いしたいです。

編集





## フレッツADSL導入記

～つれづれMac【2001夏】

藤原友行

【7/3/2001】

先日フレッツ・ADSLの申込みをしてきた。

めでたく6月22日からADSL対応地区に入っていたのだ。ただし交換機から3キロ近くあるので速度の点でちょっと心配だ。

プロバイダー分は、現在の契約+千円（口座引き落とし）だそう。工事日は未定だが今月中には大丈夫そう。NTT分は、現在フレッツ・ISDN分が月3600円でフレッツ・ADSLの契約は7月16日以降だとモデム等のリース契約で4350円らしい。その他に契約料800円と工事費が1800円。パンフレットを見ているのだがこれでいいのかしら。その他にブロードバンドルーター（1.3から2万位）があれば快適そう。なにかと物入りな感じだが果たして速度はどうなるだろうか。オプションで固定IPアドレスがもらえるサービスも予定されているが高いだらうな。

プロバイダーの営業方針が変わったらしくメールアドレスをもう一個とホームページのエリアを5MBから20MBへの追加変更手続きもやってきた。

実はもっと安いヤフーのADSLへも申し込んであるのだが、当地区は、11月以降でかつ未定で絵に描いた餅よりも思ったのだ。「とりあえずその時になったらまた考えます」とNTTの担当の方に話したら「そのように上司に伝えておきます」とのことだった。

そういえば現在のISDNをアナログに戻す（これも工事費2000円かかる）ので電話番号が変わるのが心配だったが、あの時の話したとこのままで良さそうで安心した。それから現在FAX用にもう一個電話番号を使っていたのだがこれは契約解除となる。ま、昨今大抵のことはe-mailで大丈夫なのでFAXは電話と兼用にしよう。

【7/5/2001】

さがしものをしていたら本棚の後ろからホコリをかぶった20本ほどのカセットテープの入った横長の自作の木箱が出てきた。

その中に「夜の停車駅」と書かれたものが一本あり懐かしくて聴いてみた。NHK-FM放送をエアチェックしたもので確か土曜日か日曜日だったかの40分ほどの深夜番組で20年近く前の録音と思われる。

毎回SL機関車が駅に止まるシーンの音から始まりラフマニノフのヴォカリーズそして音楽と短い物語の朗読が始まる。江守徹がその朗読を担当し合間に主にクラシック音楽を入れゆったりとした時間とファンタジーを提供していてとても好きな番組だった。

この回はブルームスで構成されており、四つの間奏曲、弦楽五重奏曲第二番、クラリネット五重奏曲などから選曲されていた。

物語は、小学校の砂場で老人の用務員が砂をふるいにかけているところに校長先生が通りかかりそこでこの二人の老人が夢中になって砂の中からビー玉、木片、壊れた人形などを拾い出している。結局この二人は、戦争で亡くなった幼い子どもたちの魂を砂場で玩具などを拾い集めることとダブらせてその鎮魂をしていたというような内容だった。また詩は三好達治の「少年」が朗読されていた。

【7/11/2001】

Yahoo! BB - ADSL接続サービスの受付が盛岡でも始まったようで友人にも本契約を即すメールが先日届いたそう。当初の予定より大分早まったようだ。自分も申込をしているので大喜びでメーラーを立ち上げたが何にもきていなかった。先に出してあった申込承諾メールから登録ページで受付可能範囲かの検索を試みたら盛岡市の中心部のみで受付が始まったようだが我が家のような郊外はまだ対象外のようなところだ。

ところで、NTTのフレッツ・ADSL

は、工事日が17日の午前中と決まった。「速度は最高で1.5Mbpsなのだがお宅の回りは計算上500キロから900キロbpsなのだが本当に工事をしてもらってもいいか。期待通りの速度が出なくても工事代金は返却できないしISDNに戻すにしてもさらに工事費がかかるが」との確認の電話があった。なんか最初から責任逃れの注文の取り方でかなり期待外れだが、それでも64キロbpsのISDNよりマシだろうと考え申込をした。かなりの不安とちょっぴり期待の日々。期待といえば日本時間で18日にAppleから新しい発表があるようだ。

【7/14/2001】

・NTTのフレッツ・ADSLのモデムが昨日到着した。電話の配線を見直さなければならないなあ。

・かわりにクロックアップしたiMacを発表し、今回は液晶のiMacが見送られるというのはのは本当だろうか？

【7/18/2001】

フレッツ・ADSLが昨日開通した。一台だけで接続できる「フレッツ接続ツール」を使うやり方で試したらやっぱり一台だけだと不便だった。それでAir MacのPPPoEを使って無線で接続するやり方も試してみた。これだとAir Macがルーティングしてくれるので三台対応機種があるのでしばらく大丈夫だろうと考えた。快適だった。しかし他の機種とのネットワークが分断され切替えるのが面倒でやっぱり使いにくくてしょうがない。我慢しきれずに先日までブロードバンドルータをドレニシヨウなどとさんざん吟味してたのをコロっとひるがえし近くの電器店の店頭に出ていた唯一の機種でコレガのものを入手。数時間のうちに三つの接続方法を試してマスターしてしまった。行き当たりばったりの生活、反省。自分のLAN環境ではIPアドレスはやっぱり固定したほうが使いやすいので設定は結局元通りに戻した。

ダウンロードする速度は、今のと



ころ最高速度で90KB/秒くらい、平均で40から60KB/秒前後でISDNだと平均で6.5KB/秒前後だったので6~10倍程度くらいの感想だ。交換機からの距離を考えるとだいたい予想通りだ。先のAppleWorks 6.2 Updateは11MBで3分10秒くらいでダウンロードできた。ブラウザを見た限りではそんなに早く感じなくて多少写真のページの表示が早くなったかな？という程度であった。結局ISDNよりも多少良かったというのが感想。

【7/22/2001】

#### ADSLの速度

昨日、通信速度の目安を表示してくれる「OSO's Modem Site」に遭遇。で、二日間スピードテストしてみた。サンプル数49、最低で542最高で1024キロボpsだった。もっとたくさん集めてみないとはっきり言えないが計測する時間による速度の違いは思ったより少ないようだ。というよりランダムな感じ。公称値で最大1500kbpsなのでまあ、交換機からの距離から考えるとこんなものだろう。

昨日の午後1時ごろある企業のISDNルータを使った回線で0.5MBのサイズで計測したら37kbpsと計測された。ただ10台以上がEthernetで繋がっており少なくともあと一台でブラウジングしながら測り条件が違うので比較にはならなくて参考程度だが。

(自宅からNTT交換機までの距離であるが、車で約3キロでADSL工事の時に局の担当者はケーブルで3.5キロといていた)

【8/7/2001】

ずっと待ち望んでいたカミュー・モラーヌのエラート録音集大成(6枚組CD)が今日届いた。1957年から1963年頃までの録音。音楽活動のほとんどを演奏活動ではなく教育の方に専念したためその後のレコードなどは極端に少なかった。日本にもお弟子さんがずいぶんいるようでインターネットで「カミュー・モラーヌ」で検索すると本人のレコードよりも彼の弟子だという方のサイトの方が多

くヒットする。今度のCDの中でレコードで持っているのは1970年代に入手したフォレの「月の光」、「優しい歌」がそれぞれ入っている2枚であとは初めて聴くもの。EP盤から収録されたリュートとハーブで伴奏されたルネッサンスからバロックの歌もおもしろかった。彼の演奏でフォレ以外を聴くのは始めて。でも、しっかりとカミュー・モラーヌそのものでユニークで聞き違えることはない。レコードにはバリトンと表記されていたがいつもテノールに近いと思って聴いていたのだが、今日CD付属の解説書で納得した。バリトン・マルタン(Baryton Martin)という声なのだそうだ。本人の解説によるとフランス特有の声のジャンルでテノールのような楽々とした動きと柔軟性を持ったバリトン、つまりテノールの魅力を持ったバリトンなのだそうだ。ウレシイ。

Spring Cleaning 4.0Jへのアップグレードをやってみた。Classic版が29.5MB、OS X版が36.3MBでそれぞれ7分と9分のダウンロード時間であった。

さて、Spring Cleaningに付属するiCleanはブラウザのキャッシュが貯まってIEが不安定なときに試したら見事に直ったので今度の4.0でどうなるのか楽しみだったのだが、ほとんど同じでどこが変わったのかいまいち不明。Spring Cleaningは設定項目を下手にいじるとかえってシステムを壊すことになるのであまり使いたくない。

これは無理にバージョン上げる必要がなかったと思う。まあ、OS X用のiCleanのアップデート料だと納得するしかないか。

【8/9/2001】

自分のホームページのphotoのページにQuickTimeMovieを貼り付ける実験をしてみた。

内容はヒマワリの写真18枚を2秒間隔で自動ページめくりするものでサイズは1.3MB。フレッツADSLだとダウ

ンロードに10数秒してから再生が始まる。回線が早い場合は何かおもしろいことに利用できそうかな？という印象。

【8/20/2001】

インターネットに入れない。昨夜、子供たちがnetに繋がらないと言ってきたが、9時頃になると眠いのでたぶんサーバーが落ちたのだろうということにして気にせず寝てしまった。ところが今朝になっても繋がらない。これはまずいことになったと今さらながらブロードバンドルーターに入って設定を確認しようとしたらこれが全然出来ない。何も変えてないはずなので不審に思いながら様々試したが全然だめ。

とりあえずmailのチェックだけはしておこうとDDIポケットのTow LINK DATAカードでずいぶん久しぶりに接続した。今晚の会合の知らせが入っていた。このカード、出張や緊急用にと毎月780円だったかの基本料金を払い続けていたのだがやっと出番がきた。しかしあらためてネットへの接続方法が一つだけだと心もとないと思った。おまけに子供たちまでもそれぞれの使い方があるようで早急に復旧しなければならぬ。なんかインターネットが電気や水道の感覚にいつのまにか近づいてきていた。

さて、二時間くらい思いつくことをいろいろと試したがだめで、いよいよハードwinマシンを担いできてブロードバンドルーターに入ってリセットしなければならぬ、億劫だと思った時、「そうだ！あれを試していない」と日ごろ入れっぱなしのスイッチング・ハブとブロードバンドルーターの電源を落としてみた。それを入れ直して5分くらいあちこちいじっていたら繋がってしまった。そして何もなかったようにいつものように動作している。

やれやれ。

mail & URL tomoyukif@mac.com  
http://homepage.mac.com/tomoyukif/



林檎 #1 ヤウシ





## 編集後記



今回も結構ドロナワで、ギリギリ印刷に間に合うか?という状況です。(編集前記?)  
御盆の休みは殆ど無かったな～

野村



本当の「私のマックライフ」っていったいどんなんでしょうか?またまた考えさせられた3日間でした。

やっぱり締め切りギリギリの原稿持ち込みで編集スタッフの皆様にはご迷惑をおかけしました。

次の林檎はオンライン配布になるとか。

高橋



やっと暑くなってきましたが、すでに風は秋風で、19日などは午前中はとても過ごしやすく、何かをするのがもったいなくてずっとゴロゴロしてとても気持ちが良かったです。

土村編集長殿、この度は大変ご苦労様でした。これからもどうぞよろしくお願いします。

さしあたって次号はジャズのお気に入りのCDや演奏家のことなどいかがでしょう?

ふじわら



今回は、編集長という役割で、この号に携わって見ましたが、やはり大変な事だと解りました。

やはり人間には適材適所というものがあるハッキリと有ってお陰様で自分を見直すとても良い機会を与えていただいたと思いました。

それと、印刷物での林檎の発行はこの号が最後となります。今後はPDFでの発行です。

新しい形で又お逢いしましょう。

土村

## お知らせ!

林檎55号からは、PDFでの配布となります。  
ダウンロード先URLは、下記の通りですので、今後ともお読みくださいますよう、お願いいたします。

<http://imfc.org/Ringo/index.html>

## 会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

尚、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、宜しくお願いたします。

## 会員近況報告

### 募集中!

新規このコーナーへの、みなさまからのショートコラムを、お待ちしております。

編集委員より!

## 会員名簿

阿部 好晴	IMF203	盛岡市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 勉	IMF309	盛岡市
沖野 覚	IMF044	二戸市	田村 修	IMF242	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
小野寺 俊博	IMF303	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
川村 浩真		新宿区	遠山 明人	IMF200	盛岡市
菅野 研一	IMF211	盛岡市	徳富 亘	IMF015	花巻市
木村 和男	IMF302	盛岡市	戸塚 孝徳		盛岡市
工藤 聡	IMF094	盛岡市	中島 恵助	IMF236	盛岡市
國光 勝美	IMF243	盛岡市	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
久保 司	IMF235	山形村	根本 聡彦	IMF042	札幌市
熊谷 知暁	IMF273	旭川市	野村 翼	IMF304	盛岡市
斎藤 秀一	IMF109	滝沢村	野村 行憲	IMF000	盛岡市
酒井 裕之		花巻市	榎山 邦彦		久慈市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	福土 宙之		盛岡市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	福田 健次	IMF005	花巻市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤澤 義榮	IMF209	花巻市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤田 健一郎	IMF310	盛岡市
佐々木 則之		紫波郡	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	藤原 真理		宮古市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	三浦 滋	IMF287	水沢市
佐藤 雅子		盛岡市	三浦 秀徳	IMF283	仙台市
佐藤 学	IMF119	金ヶ崎	三浦 貴之	IMF308	盛岡市
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	三浦 吉範		盛岡市
白石 隆	IMF039	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
杉村 栄一	IMF036	盛岡市	藪 敏裕	IMF214	盛岡市
杉村 峰秀	IMF113	花巻市	山子 則男		八戸市
鈴木 美千恵	IMF311	一関市	山田 政行		盛岡市
外川 正	IMF244	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
高橋 晃	IMF031	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
高橋 丈	IMF261	盛岡市			以上65名



## 例会案内

2001年 10月 27日(土)

11月 24日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

マリオス 7階

交流サロンにて

## 9月の例会

9月 22日(土)の例会は、盛岡駅裏西口に建っているマリオスの7階にあります交流サロンの中にオープン会議室を借りておこないます。

尚、駐車場は青空と立体の2カ所があります。

どちらも、150円/30分と、ちょっと高めです。

## ナイトサロン案内

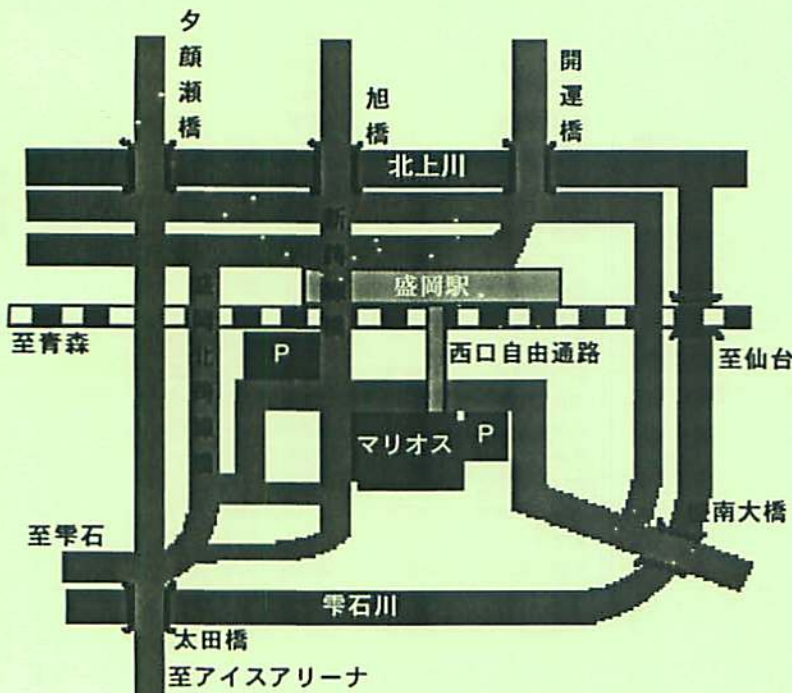
ナイトサロンは、毎月第二火曜日に、八幡宮境内にある喫茶店、愛名亭「茶欧」において、午後7時頃から開催しています。

是非、お時間のある方はお出てください。問題点などはその場で解決できると思いますよ!?

愛名亭「茶欧」

019-654-6249

IMF例会開催地地図



場所

マリオス 7階

交流サロン 会議スペース



「林檎」54号は...

First Class ATOK8  
Color Magician EG-Bridge  
EG-Word Freehand  
HyperTerm Illustrator  
MacPaint MacVJE  
MacWrite NinjaTerm  
NISUS PageMaker  
PhotoShop SoloWiter  
StreamLine SuperPaint  
等で作ったものをPageMakerで  
まとめLaserWriter, Microlinerで  
プリントしました。

「林檎」第54号 2001/8/25

編集長 土村 中

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村 行憲

020-0105 盛岡市北松園 3-34-2

非売品